

平成16年度 決算

本院の平成十六年度経営状況をお知らせします



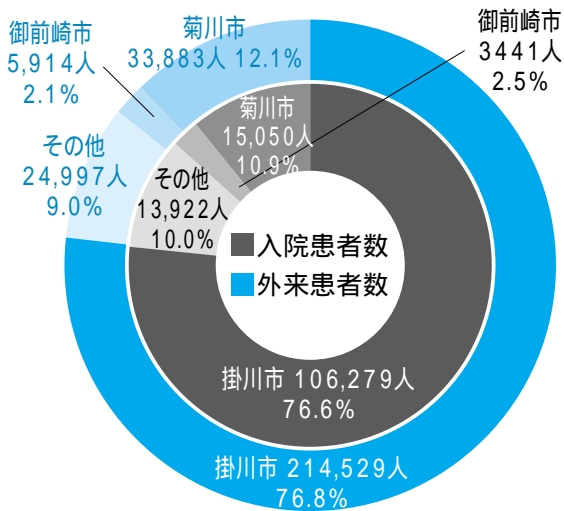
頭腹部アンギオシステム

平成16年度は、医事課に地域連携室を正式に組織化し、また、内科部門をより専門化するため神経内科を内科から独立させました。
施設改良では、リハビリ機能の充実を図るため、リハビリ機能訓練室増築工事や、病院敷地内の環境を整えるための周辺整備工事を前年度に引き続き実施しました。

医療機器では、乳ガン検診体制の充実を図るため、健康安心サロンへの乳房用X線撮影装置の新設や、放射線室への頭腹部用アンギオシステムの更新を実施するなどし、医療の高度化、患者サービスの向上に努めました。一方、病院経営では、経費の節減に努力したものの患者数の減と診療報酬のマイナス改定により、収益は86億3768万円、支出は87億2883万円となり、差し引き915万円の純損失となり、医療収支においては、5億4818万円の損失となりました。

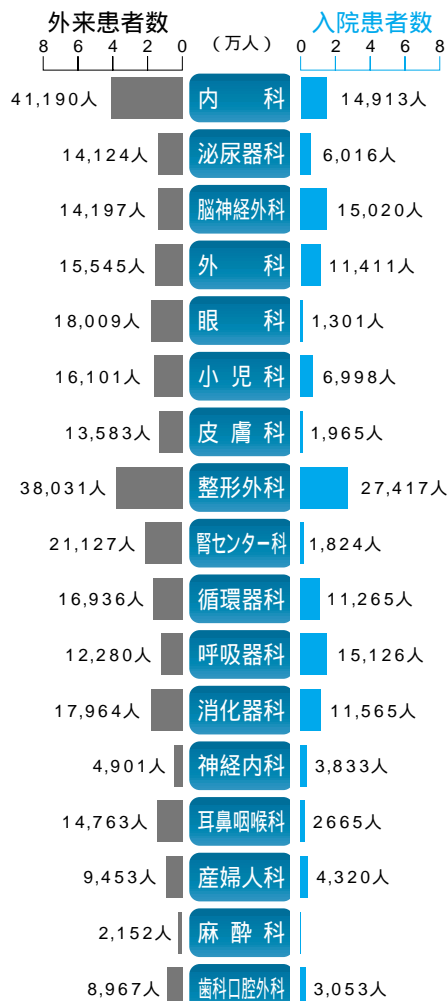
医療制度改革の流れは厳しく、病院経営の環境は極めて厳しい状況です。
今後とも多様化、高度化する医療需要に対応しつつ、経費節減に努めるとともに、診療所や療養型施設との役割分担・連携を進め、安心、信頼、満足いただける病院経営に努めます。

○居住地別患者数○



※掛川市:旧掛川市、旧大東町、旧大須賀町 ※菊川市:旧菊川町、旧小笠町

○科別患者数○



延べ 279,323人 延べ 138,692人
一日平均 1,149人 一日平均 380人

○収益的収入支出○

